

農民連・奈良産直センター

所在地 奈良県高市郡明日香村越 131-1

視察日 2016年8月26日(金)

主な取扱品目 ぶなしめじ・いちご・なし他

奈良県は山に囲まれた盆地である。耕地面積は全国で44番目と少なく、林野率が77%と全国で5番目と県土に占める森林割合が高い。そのため、山間部は果樹に向いており、山の傾斜を上手く利用し、柿や梅など多く生産されている。農業に適した平坦な土地が少ない事で耕地率も低く、大規模農業は出来ず、小さな圃場であるため、少量多品種を生産し、珍しい外国種の野菜も取り扱っている。

商品の 特徴



《品質》

野菜や果物栽培は土づくり、ぶなしめじは菌床、どちらも品質向上を目指し土台づくりに力を注ぐ生産をされています。

《安全性》

野菜や果物栽培は、独自の「農民連食品分析センター」で検査を行い、ぶなしめじは、「金属探知機」「チェックシート」を用い管理徹底し、自ら安全性を確認しながら出荷されています。

生産者の コメント

土作りに重点を置き、美味しく、安全なものをお届けできるように研究し生産しています。獣害の被害、生産者の高齢化など課題はありますが、この土地と少量多品目生産の強みを活かし、様々な農産物にチャレンジしています。大規模経営ではない美味しさを味わって頂きたいです。



参加理事の コメント

耕地率が低いのに、多品目の栽培をされていることに驚きました。それは、少量でも工夫すれば消費者のニーズに応えられること、地域で農地を守れること、伝統を継承できることにつながっていました。また、「美味しく安全は、当たり前、こだわりではない」と話されたことに、代表的な大規模生産地との違いを感じました。消費者の視点に立った商品を届けること、作り手の想いは「消費者の想い」を実感しました。

